



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬株式会社

コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 長尾 智仁 TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	43,350	5.2	3,776	148.4	3,227	86.4	2,451	130.2
2020年3月期第3四半期	41,207	11.3	1,520	△41.0	1,731	△38.2	1,064	△52.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,715百万円 (119.5%) 2020年3月期第3四半期 1,237百万円 (△6.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	86.47	—
2020年3月期第3四半期	37.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	83,542	43,849	52.5
2020年3月期	80,239	41,573	51.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 43,849百万円 2020年3月期 41,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
2021年3月期	—	7.00	—		
2021年3月期（予想）				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2020年3月期末配当金の内訳 普通配当7円00銭 創立100周年記念配当 3円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	2.8	2,800	85.8	2,100	22.4	1,900	192.5	67.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	30,563,199株	2020年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,195,500株	2020年3月期	2,234,979株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	28,347,769株	2020年3月期3Q	28,278,558株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
(1) 主力品の売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期から21億4千2百万円増加し、433億5千万円（前年同期比5.2%増）の増収となりました。利益面につきましては、売上高の増加に加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた営業活動の自粛等に伴う経費減少により、営業利益37億7千6百万円（前年同期比148.4%増）、経常利益32億2千7百万円（前年同期比86.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億5千1百万円（前年同期比130.2%増）といずれも大幅な増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 医薬品事業

GnRHアンタゴニスト「レルミナ」が投薬期間制限解除に伴い大幅に伸長したことや難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」等の増加に加え、2020年2月に東亜薬品工業より製造販売承認を承継した切迫早産における子宮収縮抑制剤「マグセント」の寄与等もあり、薬価改定に伴う減収要因をカバーし医療用医薬品の売上高は堅調に推移しました。さらに2020年9月に締結した杏林製薬との共同開発権及び販売権等に関する契約一時金および12月に締結したHarbin Pharmaceutical Group Co., Ltd. との契約一時金の計上に加わり、医薬品事業セグメントの売上高は397億1千1百万円（前年同期比5.9%増）と増収となりました。また利益面では、売上高の増加に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業活動の自粛等による経費減少から、セグメント利益は61億8千3百万円（前年同期比58.0%増）と増益となりました。

② その他

動物用医薬品、検査、医療機器等の各事業を展開しているその他事業については、動物用医薬品の売上は前年とほぼ同水準で推移したものの、検査事業の受注減少等を受けて、売上高は36億3千9百万円（前年同期比1.4%減）となりました。利益面では新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業活動自粛による経費減少等により、セグメント利益は3億1千円（前年同期比17.3%増）と減収増益となりました。

＜新型コロナウイルス感染症拡大による事業および業績への影響＞

当社では新型コロナウイルス感染症による環境変化に対応するため、在宅勤務・時差出勤の推進、営業活動や出張の自粛等の対策を講じてまいりました。また生産部門、くすり相談室などの業務に関しては従業員の安全・健康に配慮した対策をとりつつ、出社を継続し、製品の安定供給と情報提供に努めております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、業績への影響は軽微であり、製品供給についても安定して供給できる体制を維持しております。

今後、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化した場合、想定される事業活動への影響は以下のとおりです。

(販売)

今後、国内における感染拡大が深刻化した場合には、医療機関へ来院する患者数の減少に伴う処方減少、疾患啓発活動の自粛等に伴う新規処方の減少等により売上へ影響を及ぼす可能性があります。

(研究開発)

研究開発活動において現時点で大きな影響はありませんが、臨床試験を実施する開発テーマにおいては医療機関による訪問規制や患者の来院自粛などによる症例登録遅延から開発の進捗に影響を及ぼすことが想定されます。

(生産)

生産においては従前より安定供給体制を構築しており、現時点において当社工場の稼働に影響はありませんが、原材料等の調達に停滞が生じた場合には製品の供給が制限される可能性があります。

当社は今後もステークホルダーの安全および健康を最優先事項として感染拡大防止に努めつつ、事業活動を継続してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ33億3百万円増加し、835億4千2百万円となりました。これは主に、無形固定資産のその他は減少しましたが、現金及び預金および受取手形及び売掛金が増加したためであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億2千7百万円増加し、396億9千2百万円となりました。これは主に、電子記録債務が増加したためであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億7千5百万円増加し、438億4千9百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加および株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.7ポイント上昇し52.5%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を踏まえ、2020年5月12日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2021年2月1日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費総額は、36億5千1百万円であります。

現在、製造販売承認申請中の選択的プロゲステロン受容体調節剤CDB-2914(ウリプリスタル)については、海外での有害事象発生によるリスク評価のため、開発スケジュールに影響する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,294	10,754
受取手形及び売掛金	13,792	16,475
商品及び製品	9,087	8,940
仕掛品	353	341
原材料及び貯蔵品	4,602	4,492
その他	2,196	1,817
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	37,326	42,823
固定資産		
有形固定資産	13,539	12,974
無形固定資産		
無形固定資産仮勘定	8,446	8,421
その他	5,137	3,810
無形固定資産合計	13,584	12,231
投資その他の資産		
投資有価証券	9,794	9,899
その他	6,012	5,631
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	15,789	15,512
固定資産合計	42,913	40,719
資産合計	80,239	83,542
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,239	2,991
電子記録債務	2,801	4,023
短期借入金	2,748	2,848
その他の引当金	997	522
その他	7,340	7,394
流動負債合計	17,127	17,780
固定負債		
長期借入金	13,671	13,897
その他の引当金	820	820
退職給付に係る負債	6,655	6,847
その他	390	347
固定負債合計	21,537	21,912
負債合計	38,665	39,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	928	928
利益剰余金	39,560	41,527
自己株式	△2,191	△2,147
株主資本合計	39,495	41,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,293	2,565
為替換算調整勘定	△9	△47
退職給付に係る調整累計額	△205	△175
その他の包括利益累計額合計	2,078	2,342
純資産合計	41,573	43,849
負債純資産合計	80,239	83,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	41,207	43,350
売上原価	22,643	23,023
売上総利益	18,563	20,326
販売費及び一般管理費	17,043	16,550
営業利益	1,520	3,776
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	222	231
その他	152	94
営業外収益合計	375	325
営業外費用		
支払利息	48	44
持分法による投資損失	—	453
その他	115	376
営業外費用合計	163	874
経常利益	1,731	3,227
特別利益		
保険代理店事業譲渡益	49	—
特別利益合計	49	—
特別損失		
研究所移転関連費用	109	—
その他	22	—
特別損失合計	132	—
税金等調整前四半期純利益	1,648	3,227
法人税、住民税及び事業税	136	794
法人税等調整額	447	△18
法人税等合計	583	776
四半期純利益	1,064	2,451
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,064	2,451

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,064	2,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154	272
退職給付に係る調整額	32	30
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△38
その他の包括利益合計	172	264
四半期包括利益	1,237	2,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,237	2,715

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	37,515	3,691	41,207	—	41,207
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	62	62	△62	—
計	37,515	3,753	41,269	△62	41,207
セグメント利益	3,913	264	4,177	△2,657	1,520

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△2,657百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	39,711	3,639	43,350	—	43,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	40	40	△40	—
計	39,711	3,679	43,390	△40	43,350
セグメント利益	6,183	310	6,493	△2,717	3,776

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△2,717百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
(2 0 2 1 年 3 月 期 第 3 四 半 期 実 績)

(単位:億円)

品 目 名	前 期 2020年3月期		当 期 2021年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第3四半期 実績	年間実績	第3四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	104.8	132.2	96.0	120.4	△ 8.4
甲状腺ホルモン剤 チラーヂン	53.7	68.9	55.7	71.8	3.7
子宮筋腫治療剤 レルミナ	16.4	26.2	43.7	59.1	166.7
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	37.9	47.9	36.3	45.3	△ 4.2
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	29.2	37.8	33.8	44.1	15.6
月経困難症治療剤 フリウェル	16.7	22.5	22.3	29.3	33.4
抗甲状腺剤 メルカゾール	10.8	13.8	10.8	14.0	0.3
高血圧症治療剤 アムロジピン	11.6	14.4	10.0	12.6	△ 13.7
筋萎縮性側索硬化症用剤 リルゾール	6.4	8.5	8.7	11.1	35.8
高脂血症治療剤 リピディル	11.3	13.7	8.7	11.0	△ 23.3
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	10.1	12.6	7.9	7.9	△ 21.5
子宮収縮抑制剤 子宮痙攣抑制・治療剤 マゲセント	-	0.6	7.2	9.1	-

※ カンデサルタン配合剤を含む